

第2号
2017年
6月7日(水)

大学と地域の連携

京北では、いくつかの大学がフィールドワークや調査、実習など、各地域で活動をしているようです。私自身も学生の頃は地域に入ってフィールドワークをさせてもらっていたので、大学と地域の連携には興味があります。かがやき隊の活動は幅広いですが、私は大学連携を核として活動をしていきたいと思っています。大学とつながりがあることは地域にとつて強みだと思います。つながりを持ちたくても持てない地域もあり、京北は大学が多くあるまちなかに近いことから、大学とつながりやすい場所だと思います。

しかし、地域の方と話していると、実際には大学生は単発的な活動で終わってしまったたり、住民の方との交流が不十分であったりと課題も多くあるのだなと感じました。

京北側、大学側それぞれの状況や考えなどをとらえ、地域の方と学生との継続的な交流が生まれていくといいなと感じています。

立命館大学が借りている畑、「リッツファーム」↓

←大学生が作ったマップ



立命大でのマルシェ↓

農作業のお手伝いを通して

5月から所々で、田植えや野菜の植え付けなどのお手伝いを通して、地域の方と仲良くなれたり、いろいろなことを教えてもらったりし、とてもうれしく思います。農業は体力も知識も必要で、「奥が深いな」といつも感じています。アイガモ農法での稲作は初めて見るのでも興味深いです。これらを通していろいろと教えて頂けたらと思います。



↑万願寺とうがらし



↑田んぼの上にいるアイガモちゃん



↑田んぼに植える苗たち

京北の歴史ひとことコーナー

～京北の歴史博士に教えてもらっています～

京北には縄文時代の遺跡が5か所あります。

黒田の伏条台杉

黒田にある伏条台杉群を見に行きました。この杉群は京都府天然記念物に指定されています。昔この地から多くの木材が都に供給されたそうです。



京都市北部山間かがやき隊

京北担当

小林 悠歩

電話：075-852-1811

(右京区役所 京北出張所)